

choseikai
Since 1945, Saga

きりん新聞

KIRIN NEWSPAPER

令和3年 1 月号

発行 医療法人 長晴会

佐賀市久保泉町大字上和泉2201
TEL 0952-98-0120

きりん新聞編集局

新春のお喜びを

謹んで申し上げます

皆様におかれましては幸多き新年を迎えられたことと心よりお喜び申し上げます。また日頃より当法人の医療・介護・福祉に関する事業に多大なるご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。コロナ対策等で御利用者様、御家族様へ大変ご不便をおかけしておりますが、本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

医療法人 長晴会
理事長 木下竜太郎

思いを込めて

一文字一文字丁寧に書かれて届いた年賀状にはどのような思いが込められているのだろうか。と楽しみでもあります。「お互いに元気で頑張ろう」や「世話かけるね」など大切な人へ想う気持ちや新しい年を迎える喜びが伝わってきます。今年も利用者様は大切な方へ心を込めて年賀状を書かれました。



面会についてのお願い

全国的な新型コロナウイルス感染者の増加に伴い、再度対面での面会を禁止させていただいております。なお、事前に連絡をいただいた上での窓越し面会は行っております。ご不便をおかけいたしますが、皆様のご理解とご協力をお願い致します。ご不明な点がありましたら、電話にて承ります。 電話 98-0120

年越し鍋会・デイケア

令和二年大晦日の昼に、忘年会を兼ねた鍋会を行いました。今年はコロナ対策で職員が準備し、つき分けました。

利用者様が直接鍋を囲むことはなかったのですが、ふくふく「うまかねえ」「体のぬくもるねえ」とニコニコされていました。

三時からはおやつ会も開かれ、令和二年のデイケアは終了しました。利用者様同士、「今年一年お世話になりました。来年もよろしくお願いします」とお互いに挨拶され、職員にも感謝の言葉を頂きました。こちらこそ、どうぞよろしくお願い致します。

メリークリスマス

12月24日のお昼にグループホームではクリスマス会が催されました。

今回は三密を避けるため、各ユニットごとにソーシャルディスタンスを保ち、換気をしながら行いました。

各テーブルへ運ばれたクリスマスメニューに皆様、顔を見合わせ「おいしかねえ」とニコリされていました。

サンタクロースがハンドベルでクリスマスソングのプレゼント。どこからともなく手拍子が聞こえました。

皆様の「楽しかったね」との笑顔は最高でした。



choseikai
Since 1945, Saga

きりん新聞

KIRIN NEWSPAPER

令和3年 2 月号

発行 医療法人 長晴会

佐賀市久保泉町大字上和泉2201
TEL 0952-98-0120

きりん新聞編集局

御節料理

重箱に手を付けるのが勿体ないほどきれいに並んだおせち料理。
赤飯・鮭の塩焼き・厚焼き玉子・芋きんとんなど、どれもおいしそうです。



まずは目で楽しんで一品ずつ、口へ運んでは嬉しそうにお正月を噛みしめておられました。

昨年はコロナに始まり、コロナに終わった大変な一年でした。そんな中、皆様の笑顔で安心したり、元気をもらった一年でもありました。

今年もコロナに負けず、元気に過ごしたいですね。



5年ぶりの大雪警報

年明けとともに寒さがいつそう厳しくなり、佐賀県を含む広い範囲で大雪となり、見渡す限り銀世界となりました。

グループホーム前のキリンの木も、真っ白雪化粧。頭に積もった雪がベレー帽のようで、おめかしをして新年をお迎えしてくれました。

積雪を窓越しに見られた利用者様は「よく積もったねえ」とびっくり。「砂糖をかけて食べたらいいかろうごたんね」と冗談も飛び出し、話題は雪で大いに盛り上がり、寒さを吹き飛ばした一日でした。



七草粥

「これは大根、これは芹・・・」と確かめながらほんのりと春の香りのする七草粥を「あっさいしておいかったよ」「ちよこつと苦みのあるとが体によかごたんね」と召し上がられました。



七草粥は人日（一月七日）の節句の日に五穀豊穡、無病息災を願って食べられる料理です。現在では、七種の植物の薬効で弱った胃腸の調子を整える役目も果たしています。

三社参り

毎年恒例の三社参り。今年は白髭神社、薬師の森、徳永農村公園のお宮へお参りに行きました。

車の中からの参りとなりましたが、皆様しっかりと両手を合わせられ、それぞれの想いを込めて拝まれていました。

「コロナに負けんごとみんな元気だね」「今年もだいでん病気せんごと元気にしとかんばね」とご自身だけでなく皆様の健康を願っておられる心の温かさに感動しました。



工房ベっぴんさん使い

「明けましておめでとございます」「今年もお互い元気に過ごしましようね」と挨拶を交わされ今年も元気にベっぴんさんが始めました。

丸い型紙の中心から放射状に張られた糸に糸糸を通していくアクリルたわし。細かな作業も手際よく、雑巾の縫い目も均一で、まるで職人技のようです。

リハビリの一環とはいえ、笑顔で制作に取り組まれる利用者様の集中力と根気はとても感銘を受けます。



choseikai
Since 1946, Saga

きりん新聞

KIRIN NEWSPAPER

令和3年 3 月号

発行 医療法人 長晴会

佐賀市久保町大字上和泉2201
TEL 0952-98-0120

きりん新聞編集局

節分・デイケア
今年も明治三〇年以来、一二年ぶりに二月二日が節分ということで話題になりましたね。

デイケアでは職員が扮した鬼に新聞紙を丸めて作った巨大豆を利用者様が投げて鬼退治。元気な「鬼は外」の勢いに鬼たちも圧倒され退散していききました。

節分に撒く豆は『魔滅』の意味もあるそうです。新型コロナウイルスも追い払う勢いの豆まきになりました。



移動販売

きりんアパートメントでは毎週金曜日にたくさんの商品を積んだ移動式ローンがやってきます。

お菓子やパン、スイーツに唐揚げなど次から次に並べられる商品の多さにびっくり！

入居者様も開店が待ち遠しいようで、「もうよかね?」「もう並んだ並んだ」と外の様子を見守られています。開店後は人数制限をしながらではありませんが、自由に商品を見て回り好きな物を購入されます。会計を終え、レジ袋を片手にルンルンとてお部屋へと運ばれていました。



しだれ梅

施設の庭にぼつりぼつりと咲き始めた梅の花。春の足音が聞こえてきました。中庭のしだれ梅が満開になると春の優雅さを感じます。



満開になるまでもう少し。施設に集まる鳥たちも、春の訪れを待ちわびているようです。

ひな壇飾り

老健きりんときりんアパートメントの玄関ホールにお雛様を飾りました。「あらあ、今年もお雛様飾りのでたねえ」「昔はこがんに娘にも飾ってやりよったよ」と飾って間もないひな壇飾りに気づかれ、ゆつくりと眺めておられました。

最近では、お内裏様とお雛様の2体を飾る親王飾りや、三段飾りが主流となっておりますが、着物の柄がチエック柄や水玉模様など現代風のものもあるようです。時代に合わせ変わっていく部分もありますが、変わらず大切にしていきたいものもありますね。



せくろ組 頭の体操

老健きりんでは日付や天気、季節や場所などの状況を正しく認識する『見当識』の訓練も行っています。



昨夜から降り続いて積もった雪で作った雪だるまも一緒に訓練に参加しました。
この日は雪にちなんで【白いものといえば?】の質問に、「大根」や「もち」に「たまご」と答えながらも皆さん難しい顔をされ考えていらつしやいました。

窓越し面会について

感染防止対策としての面会制限にご理解、ご協力を賜りありがとうございます。

現在のところ窓越しでの面会を継続させて頂いておりますが、事前に窓越し面会ご希望のご連絡をお願い致します。

事前連絡を頂いていない場合、入浴やリハビリ等ですぐに対応できない場合がございます。

また、気候も良くなり施設内を利用者様が散歩されることも増える季節になりました。施設内奥への車の乗り入れはご遠慮頂きますようお願い致します。

choseikai
Since 1945, Saga

きりん新聞

KIRIN NEWSPAPER

令和3年 4 月号

発行 医療法人 長晴会

佐賀市久保原町大字上和泉2201
TEL 0952-98-0120

きりん新聞編集局

桃の節句

日本には五つの節句があり、五穀豊穡や無病息災、子孫繁栄を祈り邪気を払う行事です。

奈良時代から中国から伝わり、時代を経て宮中行事から一般の行事となり、様々な風習と合わさっていき今の形になったそうです。



五節句

- 一月七日 人日の節句 (七草の節句)
- 三月三日 桃の節句 (上巳の節句)
- 五月五日 端午の節句 (菖蒲の節句)
- 七月七日 七夕の節句 (笹の節句)
- 九月九日 重陽の節句 (菊の節句)



3月3日の桃の節句の昼食は、ささやかながらお雛様メニューとして、ちらし寿司、鮭の塩焼き、海老団子の吸い物、桜餅を提供させていただきました。「きれいかね〜」「食べるのもったいなかがた〜」と花をかたどったちらし寿司を見て、皆様嬉しそうに会話が弾み、楽しい昼食となりました。

春の訪れ

待ちに待った春がやってきました。

施設内の木々にはたくさんのお花が咲き、小鳥が枝から枝へと移り、楽しそうに鳴いています。

花壇には色とりどりの花が咲きミツバチは羽を鳴らしながら忙しくとび回り、蝶も嬉しそうに舞っています。

春は人も自然も朗らかに、そして明るくしてくれるいい季節ですね。



春風に吹かれて

気候も良くなり外へ散歩に行くことが増えてきました。施設の駐車場に新しく植えた金柑をみつけ「風邪ひきのときに食べるとよかもんね」と教えて下さったり、開き始めた桜を見て「あらあ、きれいかねえ」と嬉しそうに触れたり、春を楽しまれています。

外気浴はビタミンDが作られたり、睡眠や食欲、心身の安定に関係するセロトニンが増えるなどメリットがたくさんあります。



暖かく心地よい春風に運ばれてきた花の香りに、思いつきり深呼吸をしたら楽しい春の夢が広がりました。



卒業おめでとう！

ミャンマーからの留学生、タンナイン君とミチャンさんが3月18日に西九州短期大学を卒業しました。慣れない国へ来て昼間学校へ通いながらグループホームきりんで介護士としても働いていました。とても素直で優しく頑張り屋さんの二人。これからは老健きりんで頑張ります。



choseikai
Since 1945, Saga

きりん新聞

KIRIN NEWSPAPER

令和3年 5 月号

発行 医療法人 長晴会

佐賀市久保泉町大字上和泉2201
TEL 0952-98-0120

きりん新聞編集部

花祭り

花祭りは仏教の開祖であるお釈迦さまの誕生日にそのお祝いをする行事です。

お釈迦様がお生まれになったときに、天に9頭の龍が現れ甘い水を吐き、その水をお釈迦様の産湯に使ったという伝説から、花祭りではお釈迦様の像に甘茶をかけるそうです。

きりんでは花祭りに向け、花御堂の飾り付けを利用者様にお願いしました。ひと花ひと花心を込め、花でいっぱいになっていくのを喜ばれていました。

4月8日、花祭り当日は代わる代わる花御堂に利用者様が来られご家族様の幸運とコロナ退散などを祈られていました。



春爛漫

暖かく過ごしやすい季節となり、外気浴の機会も増えました。

施設の遊歩道の道沿いにはたくさんの花が咲き、その廻りを蝶が舞い、鳥は囀り、春真っ盛りです。

利用者様は、とても素敵な笑顔で

「きれいかね〜」「蝶の飛んできたよ」と嬉しそうです。

外の陽の光や香り、風を感じながらこれからも、ともに過ごす貴重な時間を大切にしていきたいと思えます。



青空を泳ぐ

今年もきりんの駐車場に鯉のぼりが立ちました。パタパタと音をたて、元気よく泳ぐ姿はとても壮快です。「はあく。大きかねえ」と利用者様は見上げ、笑顔になられます。

昔は佐賀平野にもたくさん見られていた鯉のぼりですが、最近はずいぶん少なくなりました。堂々と風になびく姿は「どんなときも元気に！」と言っているようです。

ふくろう

きりんGHでは、ふくろうの置物を作りました。

利用者様が心を込めて作ったふくろうはそれぞれ表情が違います。どのふくろうも温かみが伝わってくるようです。

ふくろうは『福来朗』や『不苦勞』などの字があてられる幸運を呼ぶ吉鳥と言われています。



また日本だけでなく、世界中にふくろうにまつわる神話や言い伝えがたくさんあり、さまざまな国で守り神として崇められているそうです。

窓越し面会について

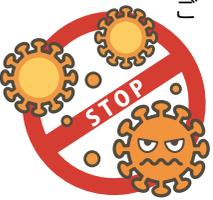
日頃より新型コロナウイルス感染拡大防止対策にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

佐賀県内での新型コロナウイルス感染者の増加に伴い、老健きりんでは4月29日より窓越し面会の対応方法を一部変更させていただきます。

他利用者様のご家族様との接触を防ぐため、事前にご予約ください。また、当日は正面玄関に記載のルールの元、ご面会いただきますよう、また他ご家族様へのご周知も併せてお願いいたします。

ご不明な点等は、お電話にて承りますので、左記までお問い合わせください。

- 介護老人保健施設きりん 0952-98-0120
- グループホームきりん 0952-71-8222
- きりんアパートメント 0952-98-3110



chosekai
Since 1946, Saga

きりん新聞

KIRIN NEWSPAPER

令和3年 6月号

発行 医療法人 長晴会

佐賀市久保泉町大字上和泉2201
TEL 0952-98-0120

きりん新聞編集局

新型コロナワクチン接種



● 老健きりんの利用者様、職員ともに全員1回目の新型コロナワクチン接種を何事もなく完了いたしました。順次、2回目の接種もおこなっております。

● グループホームきりんの利用者様、職員ともに1回目の接種を順次おこなっております。

● 木下医院では、65歳以上のワクチン接種もおこなっておりますので、ご希望の方はコロナワクチン専用ダイヤルにてご予約をお願いいたします。

予約専用ダイヤル

受付時間 10時～13時、14時～17時

☎ 080・8842・2174



新任医師紹介

新任の医師よりひとこといただきました。

「4月より木下医院に着任いたしました堤信と申します。アレルギーを専門としております。アレルギー疾患をお持ち方は多く、お役に立てるのではと思っております。

一般診療とともに力を入れてまいりますのでどうぞよろしくお願いたします。」

新人職員紹介

4月からグループホームきりんにも新しい職員が増えました。皆様、どうぞよろしくお願いたします。

☆杉町 優月☆
ゆづき

所属・グループホーム 介護職員
「利用者の皆様に信頼してもらえ
るような介護福祉士になりたいです。」



紫陽花の壁飾り

グループホームきりんでは折り紙で紫陽花を作りました。
小さな花がたくさん集まった紫陽花作りはとても根気のいる作業です。皆様、真剣な眼差しで作業に取り組まれ、時折ふくつと息を大きく吐かれお互いに顔を見あわせ、笑顔になられていました。
色とりどりの丹精込めて出来上がった紫陽花はグループホーム内の壁に優しい花を咲かせてくれています。

大螢ゆらゆらと通る

小林一茶の有名な俳句のひとつですが、小川の祇園川に今年も優しい光をまとい、ホタルがお目見えです。ジメジメとした梅雨の憂鬱な夜に、淡いホタルの光を見つけると一気に気持ちが和みますね。

そんな螢ですが、一生のほとんどを水と土の中で過ごし、1年程かけて成虫になり、ようやく飛び立ちます。

私たちの目を楽しませてくれる螢の幻想的な光、その光り方は地域によって異なり、西日本は2秒に1回、東日本は4秒に1回点滅するそうです。

面白いと思う反面、成虫になつてからは何も食べることなく1～2週間程で生涯を終えると思うと、なんとも儚く感じます。

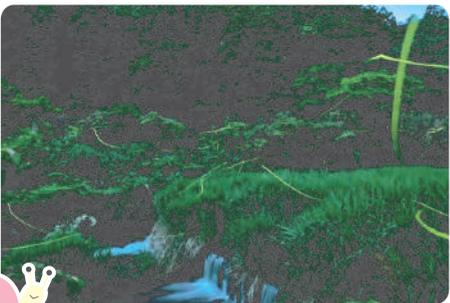
茶畑

脊振山の山麓、吉野ヶ里町に日本茶樹栽培の発祥の地があります。

建久二年（一一九二年）に栄西禅師が留学していた中国から茶種を持ち帰り、靈仙寺の庭に播いて栽培し、その製法をもたりました。これが日本最初の茶樹栽培となりました。

今も山裾一面に緑の茶畑が広がっています。

こんな場所でお茶を飲みながら、ほっと一息つきたいですね。



きりん職員 仁井広明撮影





choseika
Since 1945, Sega

きりん新聞

KIRIN NEWSPAPER

令和3年 7月号

発行 医療法人 長晴会

佐賀市久保泉町大字上和泉2201
TEL 0952-98-0120

きりん新聞編集局

アサガオ

デイケアきりんの浴室へ続く廊下に半紙で作った色とりどりのアサガオが咲いています。半紙を四つ折りにし、絵の具に浸して色を付けます。

それを開くと様々な表情のアサガオの花が出来上がります。

次に色画用紙を切り、葉やツルを作り、それらを簾に貼り付けて完成です。

全ての工程を利用者様が根気強く取り組み、制作していただきました。

作業の合間にニッコリと微笑まれ「きれいか花のできよるよ。」とたくさんのアサガオを嬉しそうに見せてくださいました。



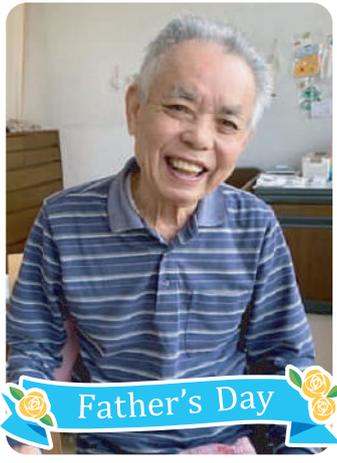
父の日

梅雨の晴れ間、6月20日は父の日でした。

この日施設を訪れたご家族様から「父に渡してください」と綺麗な包みをお預かりしました。

急いでその包みをお届けすると、【お父さんに感謝】と書かれたカードを見て男性利用者様は照れくさそうに「ありがとう」と受け取られ、すぐに包みを開けて、嬉しそうに私たちにも見せて下さいました。

ご家族様の想いで私たちまで爽やかな気持ちにさせていただきました。



交通安全講習会

介護施設の送迎時の事故防止を呼びかけている佐賀県警察本部が、6月10日にきりんのデイケア、デイサービスに向け、リモートでの交通安全講習会を行いました。

睡眠不足や体調不良を自覚したら無理をせず、運転を自粛するようにとの注意を呼びかけられ、参加した職員は真剣に話を聞いていました。

職務中や私生活を問わずハンドルを握る際は、常に気を引き締め安全運転を心がけるとともに、気持ちにゆとりを持ち思いやりのある運転をしていきたいですね。

書道

老健きりんでは週に一度、書道の日があり、季節に応じた言葉をお手本にして書いていただいています。

「昔は、よう書きよったよ」「子供の頃は、すかんやったばってんね」など、書道への想いは様々のようですが、いざ筆を握られると皆様真剣に筆を動かされます。

書道はただ文字を書くだけでなく、リラククス効果や脳の活性化、また姿勢が悪いと上手く筆を使えないため自然に姿勢が良くなるというメリットもあるそうです。



市内の交通情勢

5月半現在の人身事故発生件数(道単位)

| | 5月半 | 前年同期比 | 減速率 |
|------|-------|-------|--------|
| 発生件数 | 1,417 | -97 | -6.6% |
| 死者数 | 36 | -2 | -12.5% |
| 負傷者数 | 1,784 | -106 | -7.6% |

交通安全の推進

1. 交通安全講習会(6月10日、17日、24日、7月1日、8日、15日、22日、29日)
2. 交通安全教室(6月10日、17日、24日、7月1日、8日、15日、22日、29日)
3. 交通安全検定(6月10日、17日、24日、7月1日、8日、15日、22日、29日)

永年勤続表彰

毎年、医療法人長晴会では20年勤務した職員を表彰しています。

今年も5名の職員が表彰を受け、理事長から「長く勤め続けるのはとても大変なこと。体に気を付けてこれからも頑張ってください。」との激励があり、表彰された職員は「20年と考えると本当にいろいろな思いがこみ上げてきて、感動しました。」ときりんでのたくさんの思い出に涙を浮かべていました。

永年勤続表彰

おめでとうございます



chouseikai
Since 1945. Saga

きりん新聞

KIRIN NEWSPAPER

令和3年 8 月号

発行 医療法人 長晴会
佐賀市久保泉町大字上和泉2201
TEL 0952-98-0120
きりん新聞編集局

七夕

一年に一度、天の川を渡り織姫と彦星が再会するといわれている七夕ですが、星祭りとも呼ばれ、旧暦の7月7日に行われていました。新暦にすると、今年の七夕は8月14日なのだそうす。

きりんでは利用者様が短冊に「一〇〇歳まで元気に」「家族が元気でありますように」などの願い事を書かれ、笹竹に七夕飾りとともにしっかりと結ばれました。いつでも家族様の平穏を祈られている利用者様です。



天の川 干潟よか公園にて撮影

土用丑の日

7月28日、土用丑の日。きりんの昼食はうなぎ料理でした。「あらあ、今日は土用丑の日ね」利用者様は嬉しそうに舌鼓を打たれ、食後は「元気になった」「た気するね」と利用者様は嬉しそうにと会話も弾みました。午後からのリハビリでも「うなぎば食べたけん、足の強うなったやろう。」といつも以上に元気いっっぱいに取り組まれておられました。

毎日毎日、暑い日が続いておりますが、そんな暑さも、ものともしない利用者様の元気な笑い声に私たち職員も元気をいただいております。



少しずつ

新型コロナウイルスワクチン接種が進み、理美容の再開や食堂での昼食など少しずつ、元の状態に戻り、利用者たちにも笑顔が増えてきました。

面会も窓越し面会から、クリアシート越しではありますが、対面での室内面会へと変わり、利用者様、家族様ともに喜びの声を頂いております。皆様にはまだまだご不便をおかけしておりますが、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



清らかな心

利用者様の送迎中に素敵な蓮池をみつけました。アジサイの花の季節も終わり、蓮の花の咲く季節となりましたね。蓮の花の花言葉は、「清らかな心」と言われています。

仏教において泥水の中から美しい花を咲かせる蓮の花の姿は仏様の智慧や慈悲の象徴とされているそうです。



介護実習生

老健きりんに実習生が来ています。介護福祉士の資格取得のために、5週間の間、様々な体験を通し介護について勉強してもらいます。

利用者様は優しく実習生を迎え入れてくださり、まるでお孫様を見ているような眼差しで見守られています。

介護職はとても大変な仕事ではありませんが、こうして人のやさしさに触れ、「ありがとう」と言っていただけの素晴らしい仕事だと、この実習期間で学んで立派な介護士になってくれることを願っています。





きりん新聞

KIRIN NEWSPAPER

令和3年 9 月号

発行 医療法人 長晴会

佐賀市久保泉町大字上和泉2201

TEL 0952-98-0120

きりん新聞編集部

敬老の日

今年の敬老の日は9月21日です。

内閣府の『国民の祝日について』という資料によると、敬老の日は『多年にわたり社会に尽くしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う日』とされています。

世界的に見ても長寿の国と言われる日本にぴったりな祝日ですね。

戦中戦後の食べ物もない時代に生き、子供を育て上げ、今の日本を創って来られた方々への感謝を忘れないよう毎年、この日を大切にしたいと思います。



きりんの利用者様は暑さにもコロナ禍にも負けることなく毎日元気に過ごされています。
リハビリやお食事の時、談話室でのんびりと過ごされている時など、いつも明るく素敵な笑顔を見せてくださる利用者様の姿に敬服です。



緑のカーテン

老健きりんでは、ゴーヤを窓の外側に這わせ、グリーンカーテンを作っています。

夏の初めに植えた苗はすくすくと育ち、上へ上へと伸びてあつという間に2階まで届き、優しい日陰を作ってくれています。

利用者様は立派なゴーヤに育つのを楽しみにされていたのですが、今年には猛暑のせいも、控えめなかわいらしい小さなゴーヤでした。

手のひらサイズで収穫しやすい小さなゴーヤでも味は抜群でした。



お彼岸

春と秋を迎えるお彼岸。春分の日と秋分の日を中日として、前後3日間がお彼岸の期間です。

春のお彼岸に食べる【ぼたもち】は春に咲く牡丹の花にちなんで【牡丹餅】、秋のお彼岸に食べる【おはぎ】は粒あんに秋に咲く萩の花に見立て【お萩】と呼ばれています。

牡丹は女性の血を整える漢方薬として古くから知られており、また華やかで縁起のいい花ということで、魔よけや病除けの願いも込められています。

一方、萩の花は秋の七草の一つでもあります。婦人病に効く漢方の生薬としても使われていました。牡丹同様に魔除けや病除けとして祀られていたそうです。



癒しの時間

足浴をしながらおしゃべりにも花が咲きます。

「気持ちのよかもんねえ」「足の軽くなるけんいつも楽しみよ」と軽やかな談笑が聞こえてきました。

足浴は足を温めるだけでなく、リラククス効果や免疫カアップ、認知症予防の効果もあるそうです。

また、全身浴に比べ身体への負担も少なく病气や年齢に関係なくできるのもいいところです。



8月豪雨で被災された皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

chouseikai Since 1945. Saga

きりん新聞

KIRIN NEWSPAPER

令和3年 10 月号

発行 医療法人 長晴会

佐賀市久保泉町大字上和泉2201

TEL 0952-98-0120

きりん新聞編集局

感謝の気持ちを込めて!!!

9月20日『敬老の日』。きりんアパルトメントでは職員がひとつひとつ手作りしたどら焼きをふるまいました。

ホットプレートで焼いた生地には、お好みで漉しあんや粒あん、栗やホイップクリームを乗せ、最後に羊羹を横に添えて出来上がり。ほかほかのどら焼きを皆様、おいしそうに食べられました。

また、デイケアきりんでは職員が大正琴の演奏を披露し、手作りのメッセージカードを皆様にお渡ししました。

老健きりんではソーシャルディスタンスを保ち、カラオケ大会を開催しました。たくさんのご家族の面会もあり、日々の感謝の気持ちをお互いに伝えられています。



彼岸花

田んぼの畦道に群がる真紅の彼岸花は、とても神秘的な感じがします。そんな彼岸花を題材とした【彼岸花が咲く島】が第165回芥川賞を受賞しました。

その本の中で苦痛を除く植物として使用され、他国との貿易品としても扱われていたとあります。

実際に、彼岸花の球根をすりつぶし塗り薬として使われていたそうです。また、球根には毒成分もあり、その特性を生かして田んぼや畦道に植えられ、モグラやネズミから作物を守る役目もあります。



収穫の秋

きりんの畑に実った枝豆を収穫しました。利用者様が一つひとつ丁寧に枝から切り、ボールの中は枝豆でいっぱいになりました。

今年は雨が多かった為か小粒でしたが、茹で上がった真っ青な枝豆を口に入れると、秋の味覚でいっぱいになりました。季節のものに触れることの喜びを感じた一日となりました。



中秋の名月

月々に見る月は多けれど 月々に見る月はこの月の月



中秋の名月は、サトイモやサツマイモの収穫時期に当たることから「芋名月」とも呼ばれ、豊作を祝う祭りのような意味も込められているそうです。

また、十五夜のお供え物といえば、お団子と並んでススキが定番ですね。古来日本では背の高い稲穂は神様が降り立つ【依代】と信じられており、形の良く似たススキを稲穂の代わりに備えたことが始まりともいわれています。



どっぴんさん便り

雑巾やマスクの作成に加え、9月は素朴な形の写真立てに様々な造花を飾り付け、華やかな写真立てに生まれ変わりました。

また、大きめのビーズにカラフルな紐を通し編み込んでいき、プレスレットを作ったりと、まさに芸術の秋にぴったりなべっぴんさんです。

細かな作業も丁寧に、根気強く取り組まれ、出来上がった作品をとても嬉しそうに見せてくださいました。





きりん新聞

KIRIN NEWSPAPER

令和3年 11月号

発行 医療法人 長晴会

佐賀市久保泉町大字上和泉2201

TEL 0952-98-0120

きりん新聞編集部

文化の日

十一月三日は秋の祝日の一つ、文化の日です。新憲法が公布された記念に定められました。『自由と平和を愛し、文化をすすめる日』として、文化の日となったのだそうです。今では毎年、文化を称える行事として、皇居において文化勲章の授与式が行われています。

また、晴天が多く気象上の特異日としても知られています。

コスモス作り

きりんグループホームでは、色紙を使いコスモスを作りました。まずは色紙を折り、型を取って慎重にハサミで切っていきます。



破らないようにそとと開き、丸く切った黄色い色紙を花の真ん中に貼れば、かわらしいコスモスの出来上がり。薄いピンクや、濃いピンク、柄の入ったコスモスなど、様々なたくさんのコスモスは居室の入り口や廊下に貼られ、グループホームの室内はコスモスでいっぱいになりました。そんなコスモスを眺めながら飲む温かいお茶は心もじんわりと温めてくれます。



秋の蝶

秋の七草のひとつ、藤袴にきれいな蝶が飛んできました。『旅するチョウ』で知られるアサギマダラです。鳥のように長距離を移動する蝶で、本州にいたアサギマダラが九州や、南西諸島、台湾などへ移動していることが研究によりわかってきているそうです。

そんなアサギマダラが特に好むと言われている藤袴、見た目にもかわいらしく、乾燥させた葉からは芳香を漂わせる魅力的な花を植えられるでしょう。

甘い香りに誘われてアサギマダラがひらりと飛んでくるかもしれません。



ハッピーハロウィン

毎年10月31日に行われるハロウィンですが、ヨーロッパを発祥とするお祭りですが、近年日本でも良く耳にするようになりましたね。

老健きりんでも、ささやかながらハロウィン気分を演出するための飾り利用者様が制作してくださいました。

カラフルなペーパーフラワーで作られた愛嬌のあるかわいらしいモンスター達がゆらゆらと食堂の入り口でお出迎えしてくれ、皆様笑顔をお届けしました。



芸術の秋

毎年、市立図書館で開催される【高齢者趣味の作品展】。過去に数々の賞を頂いた作品展ですが、今年は老健きりんからは書道と布貼り絵、デイケアきりんは人形の洋服を出展します。皆様の努力の結晶が形づくられていますので、ぜひお出かけください。

高齢者趣味の作品展

会場 市立図書館
期間 令和3年12月17日～12月21日
時間 午前10時～19時



清々とした風の中で

朝夕、ぐつと寒くなってきましたが、昼間は爽やかな秋風が吹き、とても気持ちがいいものです。

利用者様達は施設の庭に出て、静かな風に吹かれてまずは外気浴。

その後はラジオ体操をしたり、ゲームを楽しまれ、元氣いっぱいいな声が真っ青な秋空に響きました。

今でも感染対策等での制限もありますが、利用者様のどこか自由で開放的な笑顔に触れるとほっとする毎日です。



不在者投票

老健きりんでは10月14日に佐賀市長選挙と10月28日に衆議院議員総選挙の不在者投票を行いました。

皆様いつもと違った面持ちで施設内に設置した投票所へ向かい、一票を投じられました。皆様の思いが届きますように。



choseikai
Since 1943, Saga

きりん新聞

KIRIN NEWSPAPER

令和3年 12月号

発行 医療法人 長晴会

佐賀市久保泉町大字上和泉2201
TEL 0952-98-0120

きりん新聞編集局

金泉中学校生徒会慰問

10月17日に金泉中学校から色鮮やかな千羽鶴と寄せ書き、吹奏楽のDVDをいただきました。

コロナが流行る前は、毎年老健きりんで素敵な演奏を披露してくれていました。

今年は感染予防のため、演奏の映像をDVDで鑑賞させていただきました、中学生の真剣な表情や、心地の良い音色に利用者様も聞き入っておられました。

千羽鶴は談話室に華やかさを演出してくれ、寄せ書きには一つひとつ目を通され、ニコニコと嬉しそうな表情をされていました。



見て・食べて 感じる秋



春から初夏にきれいな花を咲かせるハナミズキですが、今の時期は赤や黄色・オレンジに葉が色づき、また違った美しさを見せてくれます。きりんアパートメントの中庭にあるハナミズキもきれいに色づき、利用者様たちの目を楽しませ『目で見て』秋を感じさせてくれています。



また、きりんアパートメントでは『食べて』秋を感じてもらおうと、手作りの大学芋をふるまいました。ホクホクとした食感の大学芋に、甘いアイスクリームやあんこを添えたおやつは、皆様に好評をいただきました。



部分月食

11月19日、月の97.8%が地球に入り込み、ほぼ皆既月食ともいえる『部分月食』が観測されました。今回と同じ程度かそれ以上に深い部分月食は、月の98%が地球の影に入り込んだ、昭和7年9月15日の部分月食以来、89年ぶりのことで大変貴重な瞬間でした。



皆既月食中の色は大気中のチリの量で変化し、いつも同じではありません。大気中のチリの量が多いと通り抜ける光の量が少なくなり、黒っぽく見えるそうです。

次に今回よりも深い部分月食が日本で観測できるのは、65年後と言われています。(国立天文台発表より)

書き方講座

老健きりんでは生活リハビリの一環で、「ご自分の名前と住所の書き方講座を行っています。

長い人生の中で、名前と住所を書く機会はいくつになってもあるもの。

書き方講座を通じて「自分の名前をしっかりと書けるようになったよ」と、利用者様の自信にあふれた表情を見ることができています。



園芸活動



紅葉だけではなく、寒さに強い色とりどりの花できりんを飾りつけようとグループホームきりんやデイケアきりんの利用者様と園芸活動を行いました。



秋から冬へと季節の変わる11月。風が吹けば寒さが身に染みるようになりましたが、風のない陽気なこの日は外作業がはかどりました。

あたたかな日差しに包まれ、色とりどりのパンジーを思い思いに植え付ける作業の中で、久しぶりに土や花に触れることで、普段とはまた違った利用者様の表情や笑顔が見えました。そして、作業中は利用者様や職員との会話も普段よりいっそう弾み、楽しい時間となりました。

